



新湊ロータリークラブ週報

例会 毎週金曜日 12:30～13:30
会長 伊藤 雪枝 幹事 牛塚 松男



インスピレーションになるう

第 2265 回例会 2018 年 11 月 16 日(金)

「外部卓話」

- ◆点 鐘 伊藤雪枝会長
- ◆ソング 「君が代」「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト 富山県少子化対策 県民活躍課
主査 榊原 明美氏
- ◆次年度役員選出について
- ◆幹事報告 年忘れ家族懇親会の案内
会議所移転に伴う事務所の移動について
例会終了後氏名委員会を行います。

出席報告＜会員数:44 名＞

出席者	出席率	修正出席率
33 名	81.82%	84.09%



ニコニコBOX報告

伊藤会長 県少子化対策県民活躍課 榊原様、卓話宜しくお
願います。

牛塚・倉谷・棚辺 榊原主査、ようこそ新湊クラブへ。働き方改
革の勉強させていただきます。

穴田 秋野菜の販売代金の 1%を米山奨学会へ寄付します。

ニコ BOX 累計額 ￥505,000

卓話 「働き方改革・女性活躍に向けた取り組みについて」

富山県 少子化対策 県民活躍課
主査 榊原 明美様

2010 年には 66 万 5 千人おられた
15 歳から 65 歳までの生産年齢人口
ですが、2040 年には 43 万 5 千人に
なるという事で、約 23 万人 35%の方が減少するという
事で、本県経済の持続的な発展の為には女性・高齢者とい
った潜在的な人材の方々に積極的に活躍できる仕組みを確
保する必要があります。女性の活躍と言いましても例えば
子育て等でハードルが高い。また、高齢者においても中々
制約が大きいという事があります。AI 等の科学技術を利用
した事業環境の効率化を図り経済環境を発展させる事が急



がれている状況にあります。労働時間の状況ですが、富山
県は全国平均に比べて、平均労働時間が長くなっています。
その原因として、富山県の産業構造が製造業・建設業多い
というように、労働時間が長い産業が多い事があげられま
す。就業時間を年代別で見ると、男性は 20～40 代女性は
20 代が 0 時間以上働いている人が多い状況にあります
女性の労働力として 15～64 歳のうち、約 4 分の 3 は就
業しており、出産・子育てを機に就業を中断する場合は多
いことから、年齢階級労働力率は 30 代を底として M 字カ
ーブを描いているが、M 字カーブの底は全国平均より浅い
状況です。共働き率も高く全国 4 位の共働き率であります。
平均勤続年数も全国 6 位。女性の管理職として、医療福祉
関係において高い割合であります。職場における育児支援
制度は育児休業の取得率が全国平均を上回っていること、
修行規則に短期休業制度の普及等により、整備されてい
ることが言える。これから変えていかなければならないのは、
男性の育児休業の取得率であり、男性の育児参加を普及さ
せていかなければならないと考えています。また介護につ
いても同様であります。昨年女性活躍推進調査を致しまし
たが、管理職への登用意欲について「なりたくない」「とち
らかといえはなりたくない」が全体の 65.1%となっ
ており、女性の管理職意欲は高くないという事がいえる。そ
の理由は「能力に自信がない」「仕事と家庭の両立が困難」
93.7%。その他として時間外労働。深夜労働を女性に
は課しにくい、また女性の就労意識が低いといったものが
ありました。無意識の偏見が存在していることがあげられ
ます。

働き方改革の取り組みですが、これまでは男性中心・長
時間同質性の高い環境から、これからは時間制約のない男
性の減少・女性に任せていた分野の男性三角により、男女
効率よく多様性の高い職場へと変化させていくことがあげ
られます。働く時間を短縮する、また働く時間や場所を柔
軟にする取り組みにより、職場風土・社員意識改革・業務
の効率化等、やることは沢山あるかと存じますが、それを
目的として進めています。それをする事により、企業に
おいては生産性の向上・コスト節減。従業員にはモチベー
ション向上・離職防止・定着促進・心身の健康増進。社会・
富山県として優秀な人材の確保・柔軟で多様な働き方によ
る就業機会の確保を図りたい。

「会員卓話」

◆点 鐘 伊藤雪枝会長

◆ソング 「君が代」「それでこそロータリー」
・次年度役員選出の為、諮問機関として
クラブ運営懇話会を開きます。

出席報告<会員数:44 名>

出席者	出席率	修正出席率
32 名	79.55%	84.09%



ニコニコBOX報告

伊藤会長 中曾会員、京谷会員卓話宜しくお願いします。

牛塚 中曾さん、京谷さん、卓話宜しくお願いします。中でも
グレン&千杯は来年のビッグイベントです。全会員協力
のもと進めましょう。

中曾 今年もあと一か月になりました。第 16 回グレン&千杯
全国 RC 選抜野球大会の説明をします。

京谷 つたない話を聞いて下さい。

北山・篠島・穴田・棚辺・米本・牧田

中曾会員、京谷会員、卓話楽しみにしています。

藤原 かわ屋高岡店が 1 周年となりました。ありがとう織田
2 年ごしの腰痛が治って元気になりました!

金田安 納会ゴルフ12/5に行きます。まだ空席があります

越後正 都合で早退します。卓話担当の方すみません。

ニコ BOX 累計額 ￥528,500

卓話「千&グレン杯について」 中曾会員

2019 年度全国野球大会の概要説明(当クラブがホスト)

「私のお仕事」 京谷会員

私が京吉に入ったのが平成 8 年 8 月 8 日で、今日まで製造している商品はほとんど変わっていません。ただ、個々の商品の量は変わって来ています。それに対して取引先は、平成 8 年当時は 20 社あまりだったのが現在 60 社以上になっています。取引先が 3 倍以上になっているのですが、売り上げは 3 倍以上になっていません。当時は仲卸業者が個々に納品していたのが、注文が個々に来て個々に配送する事になっただけです。効率が悪くなっているだけの状態です。海外への販売についても同じで 2012 年頃まで石川中央魚市を中心とした石川県の仲買さんが海外に送って下さっていたのが、リスクを負えない・担当者が変わる等自社で行かざるをえない状況です。作っている商品は、「いかの黒作り」「いかの塩辛」「ほたるいかの塩辛」「ほたるいかの沖づくり」「ほたるいかの素干し」が平成 8 年から続く主たる製造品目です。新しい商品は、「ほたるいかいしる干し」・「白エビの殻の乾燥品」これは、「白エビのおかき」や「白エビかまぼこ」の原料に使われる製品です。そして、「白エビのペースト」これも「おかき」や「かまぼこ」の原料に使われています。北陸新幹線が開業した当時、お土産屋さんに白エビ商品が大量に並

んでいたのを記憶している方もいらっしゃると思いますが、その商品の 8 割が弊社で製造した「白エビのカラの加工品」でした。

製造していた私は、当時白エビのカラを集めるのに飛び回っており、自社で作っている製品がどこでどのように使われているのかを知らずにいました。その当時例会に来た時、大代さんが私の隣に座り、「富山駅のお土産屋さんは、白エビ商品ばかりで他に売るものが無いのか・・・」と言ってらっしゃったのですが、開業から 1 年程してから同業者に、「あの商品もこの商品も全部お前の会社で加工した白エビのカラを使っている」と言われ、驚いていました。開業前まで何件かの会社で白エビのカラの加工をしていたのですが、原料が集まらないのと、白エビのカラの高騰でコストが合わないことで皆さん止めてしまっていました。それで、弊社だけが残った感じです。良かったのか悪かったのかは分かりませんが黒作りも、1 昨年来のイカの高騰で、イカの加工業者の大半が廃業をされました。現在も製造取りやめ・廃業が続いております。

全国水産加工連合会が、今年の 8 月によく自民党水産部会に「廃業社がこれ以上増えないように手を打ってくれ」と陳情に行ったそうです。弊社には、別件で農林水産省の農林水産物輸出促進チームの方が、昨年 3 月に水産加工業者が商品の輸出を図るにあたっての要望を聞きに来られました。2010 年から香港の日本食展示会での出店者数は増えているのに水産加工業者は、毎年 20%以上減少し、水産加工品の輸出促進を図ろうにも業者数が激減していて、これが止まる見通しが立たない事が来社の理由の一つのようです。

安倍総理が、「2020 年までに農林水産物の海外輸出額 1 兆円達成を掲げて順調に輸出額が伸びているのも、この様な優秀な人たちが省の垣根を越えて集めて行動しているからかと、思いました。キャリア官僚が弊社に来るとこを息子に言うと「同席する」と言って、横で話を聞いていました。お役人様が帰ったら、「お父さん実はすごい人だったんだね」と。灯台下暗しとはこのことだと思います。

ついでに、農水省の実務上のトップの方の 1 人が金沢に来られ話をしていられました。本題は、農林水産物輸出に関する国の新たな政策についてですが、「これからは、従来の政策のように『広く浅くみんなの為に』ではなく、『やる気のある人をピックアップしてその会社を重点的にバックアップしていく』という方向に政策転換していくということでした。この会でいえば、東海会員のようにやる気と行動力のある人をドンドン後押ししていくということなので、私は置いて行かれないようにと、思っております。

残りの時間は、海外展開?というのは大げさですが、ほたるいか沖づくり・素干しなどを、香港(本土を含む)・タイ・シンガポール・インドネシアに販売しています。問題が多く発生しているのは中国です。一応香港に輸出するのに本土に持ち込んでよいかを聞かれます。「京吉」で商標登録を中国で昨年ようやく(1 年以上かけて)取れたので、二つ返事で OK を出せるようになりました。商標・特許をうまく使うことを知財戦略というのですが、「これをもっと上手く活用していたら、もっと簡単に販路を拡大できた」と商談相手に言われたこともあります。商標を国内で取得するのに助成金もありますので活用されるのも手ですが、海外での取得もしていくと結構な金額になりますので、注意した方が良いでしょう。義理と人情と付き合いで、海外で商売できるものなんだ~という感じもしますし、私はこんな感じでこれからも世界を相手に商売をしていく予定です。